

平成25年12月

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新規項目を登録いたしましたので、ご案内いたします。
弊社におきましてはご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、
今後共引き続きお引き立ての程お願い申し上げます。

敬白

***** 記 *****

■新規受託項目

項目コード No.	28540
検査項目名	View アレルギー36
検体量	血清 0.7mL
保存方法	冷蔵
検査方法	蛍光酵素免疫測定法 (FEIA)
測定アレルギー	36 アレルギー (吸入系17項目、食物系18項目、その他1項目)
基準値	クラス0 index: 0.27 未満
報告様式	index 値により、クラス0~6 の7段階判定※
検査実施料 (判断料)	1,430点 免疫学的検査 (144点)
所要日数	3~4日
備考	※ 測定するアレルギー構成と判定基準については、裏面をご参照下さい。 View アレルギー36は、クラスとindex 値の報告となります。 特異的IgE イムノキャップのUA/mL では報告されませんのでご留意 下さい。 アレルギー36種に対し、検査優先順位の指定はお受け出来ません ので、予めご了承下さい。

「View アレルギー36」は、少量の採血でアレルギー症状の重要な原因アレルギー36項目を特異的IgE検査 (CAP検査) と同じ抗原を利用し測定することが可能な検査です。これにより、多種のアレルギー疾患に対応でき、その原因把握に有用です。

■実施日

平成26年1月6日 (月) 受付分より

■「View アレルギー36」の構成アレルゲン

構成するアレルゲン名称	推定されるアレルゲン群	
ハウスダスト1	室内塵	
ヤケヒョウヒダニ	ダニ	
スギ	樹木花粉	
ヒノキ		
ハンノキ(属)		
シラカンバ(属)		
カモガヤ		イネ科植物花粉
ブタクサ	雑草花粉	
ヨモギ		
アルテルナリア	真菌(カビ)	
アスペルギルス		
カンジダ		
マラセチア(属)		
ネコ(フケ)	動物	
イヌ(フケ)		
ゴキブリ	昆虫	
ガ		
その他	ラテックス	職業性アレルゲン

構成するアレルゲン名称	推定されるアレルゲン群
牛乳	食品
卵白	
オボムコイド	
米	
コムギ(実)	
ソバ	
大豆	
ピーナッツ	
リンゴ	
キウイ	
ゴマ	
牛肉	
鶏肉	
エビ	
カニ	
サバ	
サケ	
マグロ	

■判定基準

index値	クラス	判定
0.27未満	0	陰性
0.27~0.49	1	疑陽性
0.50~1.79	2	陽性
1.80~7.04	3	
7.05~17.34	4	
17.35~29.30	5	
29.31以上	6	

■構成アレルゲンの主な特徴

【樹木花粉】

代表的なスギ、ヒノキはもちろん、飛散時期が長いハンノキや特に北海道で重要なシラカンバは気道炎症だけでなく、口腔アレルギー症候群(OAS)を引き起こしやすい花粉です。

【真菌(カビ)】

空中真菌として重要なアスペルギルス、アルテルナリアに加え、皮膚常在菌であるカンジダ、マラセチアを検査します。酵母様真菌の一種であるマラセチアは思春期以降のアトピー性皮膚炎患者において高率に検出されます。

【昆虫】

ゴキブリは糞や死骸が抗原となり、気道炎症を引き起こします。ガは屋内外に存在し、特に初夏と秋に空中抗原量が多くなり、喘息、アレルギー性鼻炎の原因となります。

【食品】

食品表示義務項目である、卵白、牛乳、小麦、ソバ、ピーナッツ、エビ、カニを検査できます。食物アレルギーにおいて最も発症頻度が高い卵の関連項目として、オボムコイドは加熱卵の摂取可否の目安となります。食物アレルギーだけでなく、OASの原因物資となる果物のリンゴ、キウイを検査できます。魚類は代表的なサケ、マグロに加え仮性アレルゲンによる症状との判別が難しいサバを検査できます。ゴマは特定原材料に準ずるもの(推奨品目)として新たに追加されました。

【職業性アレルゲン】

ラテックスは通常の感作経路以外にラテックス-フルーツ症候群として、共通抗原性のある果物や野菜の摂取により重篤な症状を引き起こす可能性があります。